

令和2年5月より心臓血管外科手術を開始しました。新生児科、小児科、循環器内科、麻酔科及び多職種との連携体制を構築するとともに、必要に応じて外部の心臓血管外科医師の協力を得ながら手術を行う、また、手術後の管理を行う際に千葉大学集中治療部と Tele-ICU（遠隔集中治療支援）を導入するなど、安全な手術が行えるよう体制を整え、手術を行ってきました。

今後も、さらなる工夫をしながらより安全に術前から手術、退院までの術後管理ができるよう環境を整えていきたいと思っております。

I 業務体制

1) 外来・手術体制（令和2年度）

手術日：月曜日、水曜日（予備日）

外来日：金曜日（午前）

2) 診療スタッフ（令和2年度）

職名・職種	氏名	資格・認定等
統括部長	杉本晃一	日本心臓血管外科専門医、日本外科専門医 日本循環器専門医、医学博士 千葉大学医学部臨床教授
部長	椛沢政司	日本心臓血管外科専門医、日本外科専門医 日本成人先天性心疾患学会暫定専門医、医学博士

II 1年間の経過・総括

心臓血管外科を新しいチーム体制で再開しました。コロナ禍での再開や再開したばかりということもあり、慎重に症例を選定しながら手術をしてきました。今後は、関係医療機関と連携しながら、新生児から乳幼児、成人先天性心疾患、高齢者の後天性心疾患に至るまで幅広い患者層への心臓血管外科手術の対象者について症例を重ねていく方針です。

III 手術実績（令和2年度）

病名・術式	症例数
新生児（動脈管閉鎖術・肺動脈絞扼術など）	6
先天性心疾患（心室中隔欠損閉鎖術など）	9
成人先天性心疾患（修正大血管転位に対する弁置換など）	5
後天性心疾患（冠動脈バイパス術、弁置換術など）	18
血管外科（腹部大動脈瘤人工血管置換術など）	3